



サークリサ[®] 治療連絡カード

監修 奥田 誠 先生

東邦大学医療センター大森病院 輸血部

サークリサ[®]治療開始前の輸血前検査結果を
このカードに記載し、患者さんへお渡しください。



サノフィ株式会社

参考：日本輸血・細胞治療学会「多発性骨髄腫治療薬(抗CD38)による免疫性反応への対処法(一部改定版)」
サノア「サノア」製品電子添付文もあわせてご参照ください。

- 輸血の際には、サークリサ®治療開始前(初回投与前)に実施した、本カードに記載の輸血前検査結果(不規則抗体の有無)等を参考にしてください。
- 間接グロムス試験への干渉は、サークリサ®治療中および最終投与日から目安として6ヵ月後まで持続する可能性があります。
- この干渉は、検査に使用する赤血球試薬、供血者赤血球をジオスレイトール(DTT)処理することで回避できますが、Kell血液型抗原はDTTにより破壊されるため、抗Kなどの抗体の存在を確認することができません。
- サクリサ®は、赤血球上に発現するCD38と結合し、間接抗グロブリン試験(間接グロムス試験)において、偽陽性(汎反応性)になることがあります(ABO型およびRh型)の判定には影響しません。
- サクリサ®(一般名：イサツキシマア)は、「多発性骨髄腫」の効能又は効果を有する抗CD38モノクローナル抗体です。

輸血検査の専門機関および検査部門の医療関係者の方へ

サークリサ®治療連絡カード

サークリサ®による治療を受けている/受けた

患者さん、ご家族の皆様、 介助者の方々へ

このカードには輸血の際に必要な情報が記載されています。

サークリサ®治療中および最後の投与日から目安として6ヵ月間は、このカードを常に携帯し、医師または医療スタッフに提示してください。

